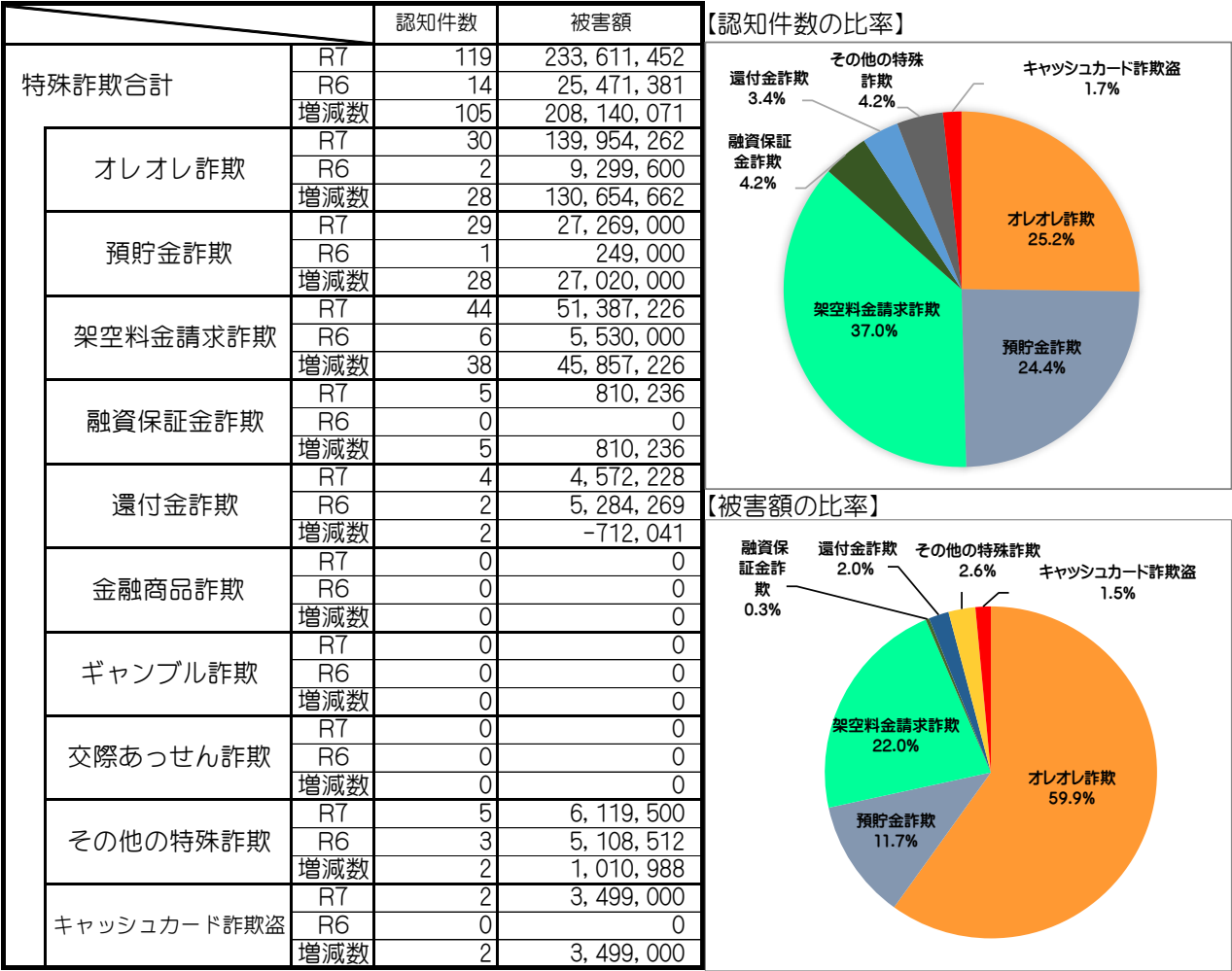


特殊詐欺対策ニュース

令和 7 年 4 月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和7年3月末）※暫定値

1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況



2 3月中に認知した主な事件

(1) 警察官をかたるオレオレ詐欺により、1,396 万円の被害

被害者（網走市内居住、60歳代女性）は、自宅固定電話に、警察官を名乗る男から電話を受け、「あなたのメールアドレスから迷惑メールが出ている。」「詐欺の被害に遭ったお金があなたの口座に振り込まれているかを確認する。」等と言われた後、SNSでのやり取りに移行し、「偽の警察手帳」などの画像を見せられたことで警察官であると信用してしまい、「捕まった犯人があなたの口座にお金を振り込んでいる。」「通帳に入っているお金を確認したいので、お金を送って下さい。」などと言われ、指定された口座に複数回振り込み、合計1,396万円をだまし取られた。

(2) 金融機関職員を名乗り、キャッシュカードをだまし取る預貯金詐欺

被害者（札幌市内居住、80歳代女性）は、自宅固定電話に、金融機関職員を名乗る男から、「あなたに医療費の還付金がある。」「あなた名義の口座に振り込むので持っている口座を教えてください。」「そのキャッシュカードは古くなっているので、今からあなたの家に行く職員に渡してほしい。」などと電話を受け、自宅を訪問してきた女にキャッシュカード2枚を手交してだまし取られ、同キャッシュカードから、合計140万円を引き出された。

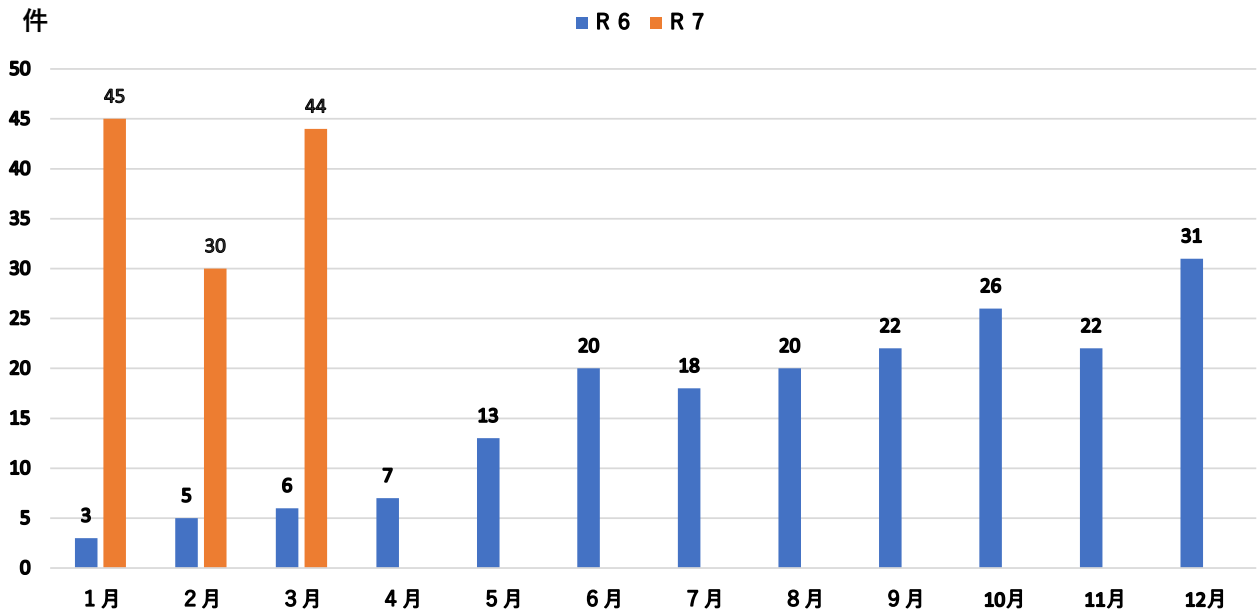
○令和7年3月末における特殊詐欺の認知件数は119件（R6年3月末:14件）で前年に比べ105件増加し、被害金額は約2億3000万円（R6年3月末:約2,500万円）で前年に比べ約2億円増加しました。

○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約61.3%（令和6年:約42.6%、令和5年:約74.2%）となっており、被害者の半数以上が高齢者の方となります。

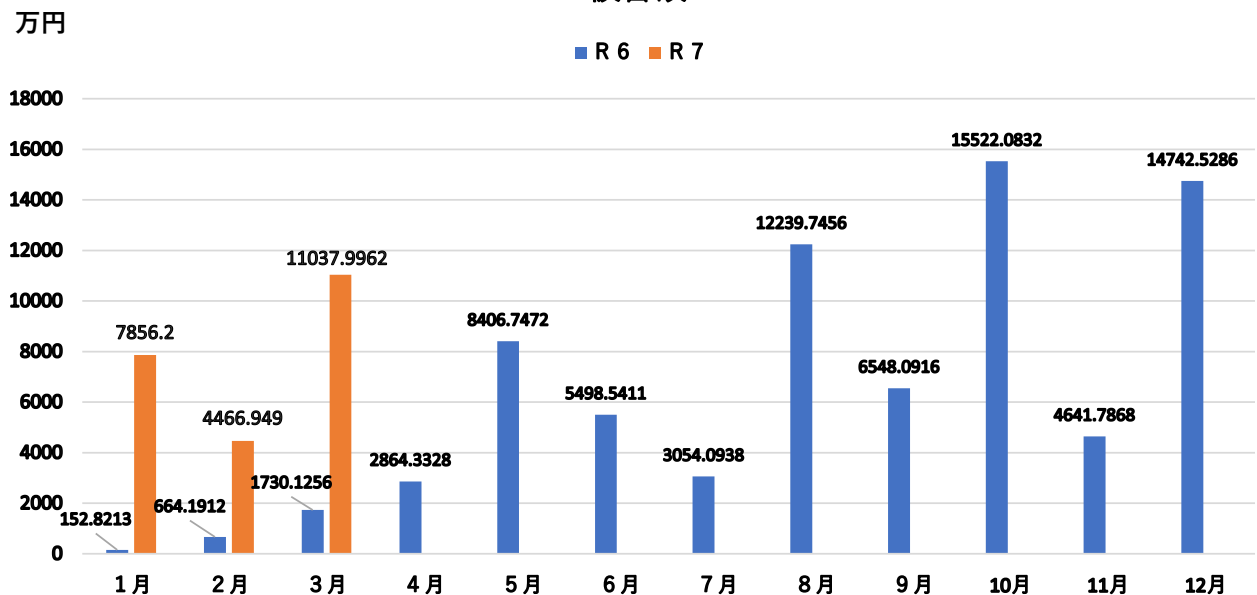
○本年の特殊詐欺被害を分析すると、「警察官を名乗るオレオレ詐欺」「キャッシュカードを手交してだまし取る預貯金詐欺」の被害が多発しています。引き続き、犯人からの電話を受けないための対策として、「国際電話不取扱受付センター」への積極的な申込みの検討をお願いします。また、キャッシュカードをだまし取るため、キャッシュカードの受け取り役いわゆる「受け子」が道内に多数入り込んでいる状況です。

3 認知件数及び被害額の前年同期比

認知件数



被害額



【被害防止ポイント】

- 「キャッシュカードは他人に渡さない。」「暗証番号は他人に教えない」を徹底すること
- 電話で「キャッシュカードを受け取りに行く。」と言われたときには、必ず最寄りの警察又は# 9110に相談することに配慮し、被害防止対策をお願いします。

SNS型投資・ロマンス詐欺対策ニュース

令和7年4月

警察本部生活安全企画課

注意!

SNS型ロマンス詐欺が多発しています!

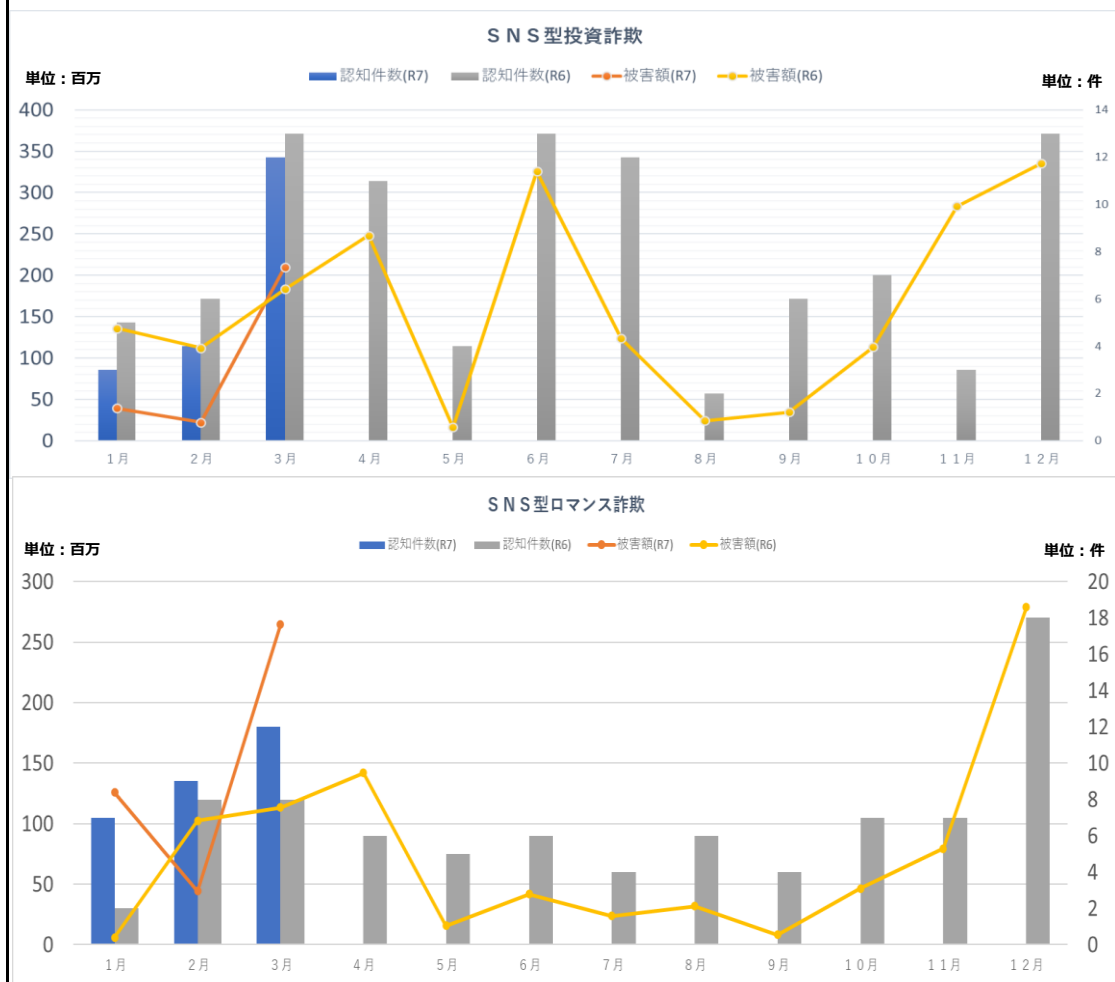
1 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況(3月末)

種別	認知件数	被害額
<u>SNS型投資詐欺</u>	19件	約2億7,000万円
<u>SNS型ロマンス詐欺</u>	28件	約4億3,000万円
合計	47件	約7億円

※ SNS型投資詐欺～SNS等を通じて、投資名目で金銭等をだまし取るもの。

SNS型ロマンス詐欺～SNS等を通じて、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取るもの。

2 被害発生状況の推移



3 R 7. 3月中に認知した主な事件
(1) SNS型投資詐欺
被害者（札幌市居住、60歳代女性）は、投資家の動画共有サービスを閲覧中、コメント欄に「投資が気になる人は一緒に勉強しましょう。」との投稿を見つけ、添付のURLにアクセスしたところ、投資関係者を名乗る者らとのSNSチャットへと移行して投資に関する儲け話をされ、投資名目でインターネットバンキングを通じて指定口座に振り込み、合計約3,800万円をだまし取られた。
(2) SNS型ロマンス詐欺
被害者（札幌市居住、60歳代女性）は、SNSでメッセージが届いた台湾人を名乗る男とやり取りをする中で、「投資をしませんか。暗号資産が儲かる。」などと言われ、犯人から指示された暗号資産取引所のアプリをインストールした後、購入した暗号資産を、指定されたアドレスに複数回にわたり送金し、1,113万円相当をだまし取られた。
4 被害防止のポイント
(1) ネットやSNSには、投資に関する詐欺動画や詐欺広告が多数存在します。 投資詐欺は、そのような広告を端緒に、LINE、Facebook、Instagram、Xなどの各種SNS、マッチングアプリなどで知り合った者からLINEなどのSNSグループチャットに招待されます。 SNSには、投資関連の詐欺グループチャットが多数存在しますので、見知らぬ者から投資を勧められた際には詐欺の可能性が高いです。 (2) 被害に遭っている方のうち、複数回の振り込みでは、毎回違う口座（個人名義や法人名義）を犯人から指定されています。 (3) 投資で絶対に儲かるなどのうまい話はありません。 (4) 被害防止対策 ① <u>振り込先に個人名義の口座を指定されたときには詐欺の可能性が高いです。また、法人名義の口座についても、当該法人が金融庁の登録業者であるか否かを確認しましょう！</u> ② <u>SNSやウェブサイト上で知り合った者から投資を勧められた場合は、必ず最寄りの警察又は#9110に相談してください！</u>